

国際環境委員会による、全校生徒の環境意識向上のための活動

1 自治体名

富山県

2 発表者名

久道遙香・北山ちえみ・橋本笑佳（大門高等学校 2年）

3 活動名

国際環境委員会による、全校生徒の環境意識向上のための活動

4 活動期間

委員会設置（2003年度）以来、学期ごとに定期的に活動

5 活動場所

大門高校及び学校周辺

6 活動参加人数

18名（国際環境委員 各クラス2名×学級数）

7 活動を始めた経緯

大門高校国際環境委員会は、「国際理解・国際協力」に関する活動並びに「環境問題」に取り組む活動を推進することを目的に2003年度に発足した。2007年度には米国元副大統領アル・ゴア氏が提唱した「自分たちに出来る10のこと」に続くアイデア募集を全校生徒に呼びかけ、委員たちの提案から実現した「エコライフ度チェック」「ノークーラーday」が現在も継続実施されている。

8 発表要旨

国際環境委員会では環境に関する以下の3つの活動を継続的に行っている。

- 各家庭における資源の消費量を二酸化炭素排出量に換算するワークシートを用いて現在の生活状態を把握し今後削減できる二酸化炭素消費量を意識する「エコライフ度チェック」を通して、各自の生活状態の改善につなげている。
- 7月～8月の特別授業期間中の比較的過ごしやすい日を1日選んでエアコンの使用を控える「ノークーラーDAY」の実施により、どのくらいのエネルギーが抑えられるのかを認識するとともに、また風鈴や打ち水など夏を涼しく過ごす先人の知恵を再確認する機会としている。
- 射水市のイベントである「越中だいもん凧まつり」開催に合わせて、会場となる庄川河川敷の清掃活動を地域ボランティア委員会と共同で行っている。身近な河川敷を苦勞しながら清掃することで、ゴミの減量並びに分別・再資源化の意識を高めることを目的としている。

これらの活動はいずれも、日常の学校生活の中で生徒誰もが実施できることである。私たち高校生には何が出来るのかを考え、少しずつでもできることから実行に移すとともに、全校生徒に呼びかけて広めていきたい。

